

注意事項

1. 本冊子に記載している製品は日本国内向けです。
2. 使用前に必ず品名・品番・色相・ロットNo.・規格をご確認ください。
3. 保管は、高温多湿を避け、冷暗で平坦な場所に置き、変形するような積み方はしないでください。
4. 長期間保管されていた製品は、使用前に物性低下の有無をご確認ください。
5. 極低温・極高温向けには設計されておりませんので、そのような用途に使用する場合は必ず弊社までご相談ください。
6. 熱融着による接合の際は、臭気が発生することがありますので、必ず作業場を換気してください。
7. 高周波ウエルダーで溶着する際は、溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起こすことがありますので、ウエルダーケーブル及び膜材料の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
8. 膜材料が鉄骨等と直接接触する部分には、必ず補強(当て布等)をしてください。
9. 印刷する場合は、印刷性を事前にご確認ください。
10. 洗浄する場合は、中性洗剤を浸した柔らかいスポンジ等で拭き取り、十分に水洗いし乾燥してからご使用ください。
11. 本冊子サンプルの色見本は、出荷時の現物の色相と異なります。予めご了承ください。
12. 透光差がありますので、同一縫製品には、同一ロットNo.の使用をお勧めします。
13. 透光率はJIS Z 8722試験方法にて測定した数値です。表示の0は、0.04以下の数値を表すもので、完全遮光を意味するものではありません。
14. UVカットについて 紫外線とは300nm～380nmの放射をさし、JIS A 5759に基づいてUVカット率を算出しています。UVカット率95%以上を対象にマークを記載しております。
15. 廃棄される際は、下記の方法で処理してください。
(1) 廃棄物処理法、都道府県条例等に従ってください。
(2) 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
16. 質問、問い合わせ、より詳しい資料が必要でしたら、取扱店または弊社までご連絡ください。
17. 本冊子の記載内容は改善のため事前の予告なしに変更することがあります。
18. 本冊子中のデータに適合しない使用条件で製品を加工、または使用すると事故や怪我の原因となります。必ずデータと適合する使用条件内で製品を加工または使用してください。
19. ゴム(配線材等)との接触により膜材が変色する場合がありますので、直接接触しないようご注意ください。
20. 長期間水に接触すると白濁する場合があります。ただし、乾燥すると元に戻ります。
21. 屋外では間仕切り用途でご使用ください。その他の使用方法で検討される場合は、必ず弊社までご相談ください。
22. アレルギー体質あるいは皮膚の敏感な方の使用にはご注意ください。
23. 乳幼児やペットの手の届かない所でご使用ください。
24. ムシカエース®2054・ムシカエース®2026・CT-1030-Mに接触していない場合はノックダウン、忌避効果はありません。また、経年劣化・使用環境により効果は低下致しますので、ご注意ください。
25. ムシカエース®2054・ムシカエース®2026・CT-1030-Mの各試験結果は対象害虫の個体差によって数値が変動します。
26. RoHS指令適合に関しましては、2017年7月時点の適合となります。

不快害虫が嫌って逃げる

ムシカエース®2054

ムシカエース®2026

クリスタルターポ®CT-1030-M

新防虫メッシュ

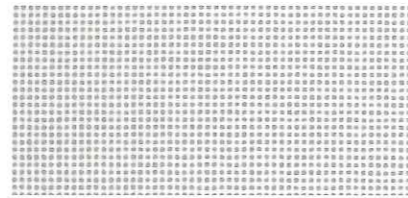
ムシカエース®2054

- 不快害虫が嫌って逃げる新防虫メッシュ
- シックハウス対策品…文部科学省の学校環境衛生の基準に対応



用途 間仕切り(屋内外)、三方幕、その他

材質 基布:ポリエステル100%/樹脂:ポリ塩化ビニル(PVC)



新防虫メッシュ

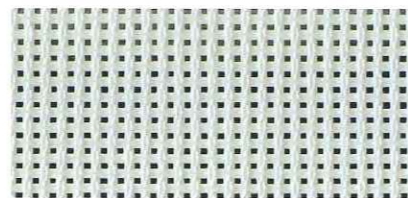
ムシカエース®2026

- 不快害虫が嫌って逃げる新防虫メッシュ
- シックハウス対策品…文部科学省の学校環境衛生の基準に対応



用途 間仕切り(屋内外)、三方幕、その他

材質 基布:ポリエステル100%/樹脂:ポリ塩化ビニル(PVC)



新防虫ターポリン

クリスタルターポ®CT-1030-M

- 不快害虫が嫌って逃げるターポリン
- シックハウス対策品…文部科学省の学校環境衛生の基準に対応
- 耐寒性…-30℃異常なし(JIS K 6404)



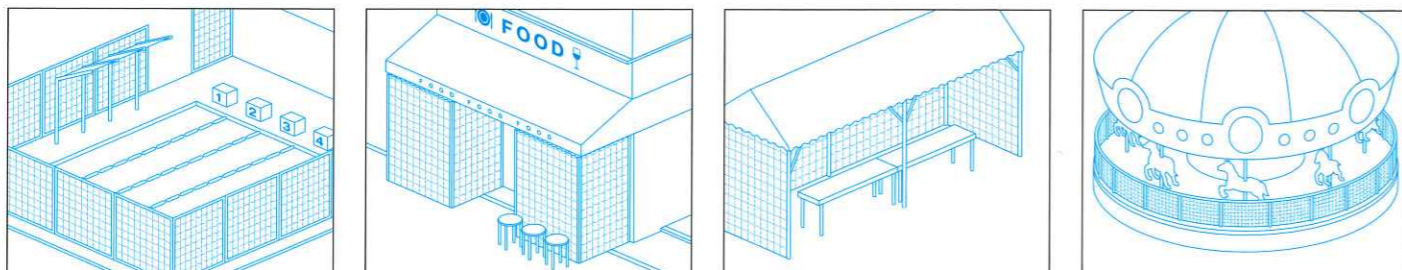
用途 間仕切り(屋内外)、その他

材質 基布:ポリエステル100%/樹脂:ポリ塩化ビニル(PVC)

※屋根部分でのご使用はご遠慮願います。

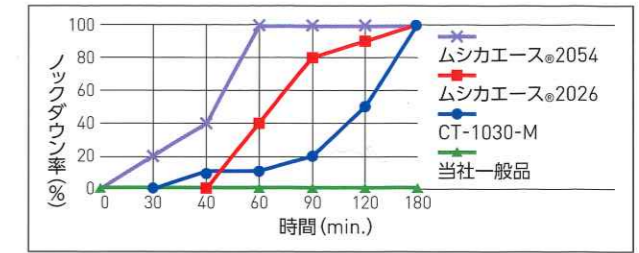


■ 用途事例



■ 飛翔害虫に対するノックダウン試験 ※自社試験法

試験方法…シャーレの蓋面に試験体(ムシカエース®2054・ムシカエース®2026・CT-1030-M)を貼り付け蓋面が底になるようにセットし、飛翔害虫10匹を強制接触させました。時間経過毎にノックダウンした個体数を計測しました。※ノックダウンは死亡ではなく気絶を表します。



※上記の試験結果は対象害虫の個体差によって数値が変動します。また、自社試験での測定値であり、保証値ではありません。

■ 不快害虫に対する忌避試験 ※自社試験法(不快害虫使用の試験例)

試験方法…水を含ませた脱脂綿と餌を置き、不快害虫が自由に摂取できるようにしました。不快害虫20匹を試験容器に入れ、24時間経過後、当社一般品※1および試験体(ムシカエース®2054・ムシカエース®2026・CT-1030-M)のシェルターに潜伏する不快害虫の数を計測し、忌避効果を判定しました。判定する試験は、光源、温湿度差、個体差等によるバラツキを考慮して、繰り返し3回行いました。

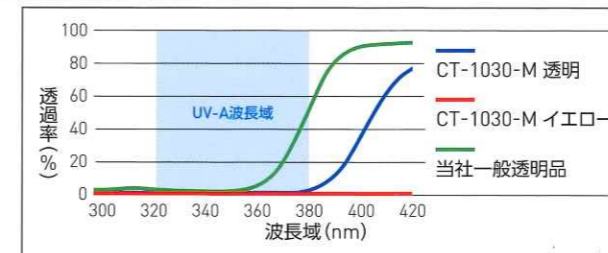


不快害虫に対する忌避効果試験図
※上記の試験結果は対象害虫の個体差によって数値が変動します。また、自社試験での測定値であり、保証値ではありません。
※1 ムシカエース2054・ムシカエース2026は当社一般メッシュ、CT-1030-Mは当社一般透明品を使用しています。

試験体	N1	N2	N3	合計	忌避率(%)
ムシカエース®2054	0	0	1	1(46)	97.8
ムシカエース®2026	0	0	0	0(45)	100
CT-1030-M 透明	1	1	0	2(43)	95.3
CT-1030-M イエロー	0	1	0	1(36)	97.2

※ ()内の数値は各品番毎に比較した当社一般品の数値であり、忌避性能無しの場合の測定結果です。

■ 波長別透過グラフ



CT-1030-Mは皮膚癌や白内障の原因となる紫外線(UV-A 波長:320~380nm)を効果的にカットします。

試験体	紫外線カット率(%)
CT-1030-M 透明	99.93
CT-1030-M イエロー	99.99
当社一般透明品	90.23

■ ヒトパッチテスト

試験方法…試験体(ムシカエース®2054・ムシカエース®2026・CT-1030-M)を1cm大の大きさに切り取り、日本人被験者20名の皮膚の適格性について確認後、試験検体をパッチテストユニットに載せて、上腕内側に24時間閉鎖貼付しました。24時間経過後にパッチテストユニットを除去し、その30分後と更に24時間後に貼付部位の皮膚反応を評価しました。

試験結果…皮膚刺激性について上記パッチテストにて陰性(刺激無し)に分類されました。

■ 溶出確認試験 ※自社試験法

試験方法…試験体(ムシカエース®2054・ムシカエース®2026・CT-1030-M)(サイズ:10cm×20cm)を①水、②模擬海水(3.5%NaCl溶液)が入ったサンプル瓶に投入しました。密閉したサンプル瓶を室温と40℃の条件下で保管し、一日毎、一週間、溶液中への溶剤抽出確認のため、ガスクロマトグラフィー(検出器)で測定を実施しました。

試験結果…①、②のどの温度条件下においても一週間での溶剤抽出は確認できませんでした。

※弊社ガスクロマトグラフィーでの溶剤抽出限界は0.0001g/100mlです。

■ 物性データ

品番	幅×長さ(cm)(m)	厚さ(mm)	質量(g/m ²)	引張強さ				伸び率		引裂強さ				防災登録番号 防災製品番号 (公財)日本防災協会
				タテ		ヨコ		タテ	ヨコ	タテ		ヨコ		
				kgf/3cm	N/3cm	kgf/3cm	N/3cm	%	%	kgf	N	kgf	N	
ムシカエース®2054	206×50乱	—	120	52	510	52	510	15.0	18.0	10.2	100	9.7	95	A1190136 F-31145
ムシカエース®2026	204×30乱	—	180	68	667	71	696	12.0	15.5	11.8	116	11.2	110	F-30264
CT-1030-M	205×30乱	0.30	400	20	196	20	196	18.0	26.0	19.0	186	19.0	186	A1170086 F-29170
試験方法	JIS L 1096			JIS L 1096 A法				JIS L 1096 C法						

上記物性データはJIS・(公財)日本防災協会が定める測定法に基づいた測定値であり、保証値ではありません。